

渋川市赤城歴史資料館企画展

渋川市と自然災害



会 期

令和7年 3月26日水
～ 6月29日日

会 場

渋川市赤城歴史資料館
(渋川市赤城町勝保沢 110 番地)

入 館 料

大人:200円／大高生:100円
(中学生以下、65歳以上、障害者手帳を
お持ちの方と付き添いの方1名は無料)

開館時間

午前 10 時 ～ 午後 4 時

休 館 日

月・火曜日(祝日は除く)、祝日の翌日



渋川市は、自然災害の多い日本のほぼ真ん中に位置しながら、地震や台風による自然災害の頻度は比較的少ないように思われがちです。しかし、全国的に有名になった金井東裏遺跡の発掘や過去の遺跡から自然災害と無縁ではないことが明らかです。有史以前の浅間山噴火、古墳時代の榛名山噴火、平安時代の弘仁の大地震、江戸時代の天明の浅間山噴火、昭和のカスリーン台風など様々な災害の痕跡が市内に残されています。

今回の企画展では、渋川市で発掘された遺跡などから過去の災害を振り返るとともに、現代での防災に関する取組を紹介します。



資料館への案内

施設名 渋川市赤城歴史資料館
所在地 〒379-1122 渋川市赤城町勝保沢110番地
TEL/FAX 0279-56-8967

交通案内

車 関越自動車道赤城インターから5分または
関越自動車道渋川・伊香保インターから15分
バス JR上越線・吾妻線の渋川駅から関越交通バス
勝保沢行き15分、「赤城幼稚園」前下車徒歩5分

案内図

